水時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

仙臺への便利になる

を中心とし直通線架設

総工費四十萬圓

、於ける久しい間の懸た仙臺及び東京への直通申請の件に就ては其後當於て其實狀を調査中なりしこれを必要と認めたので平局申請に基き東京、仙臺間共直通線として本年中に實施される筈になつたが實施の爲め要する総工費は約四十萬圓の巨額に達するので豫算の關係上直ちに實施されるや否やは疑問であるが結局實施される事となつたのは確實であるから之れが實施の曉は從來の如く東京へは水戸で、仙臺へは福島で中繼された爲め意外の長時間を要する樣な不便を感じてゐた事は一掃されるから管内加入者の之れに依る福音は絶大なものとなるであらうと

平警察署の犯罪檢擧成績

平警察署に於ける大正十四年度以降の犯罪檢擧成績は、十四年度犯罪件數千四百八件、檢擧千五百七件、十五年度千三百九十一件、檢擧千四百三十件、昭和二年度五月末日まで五百三十七件、檢擧五〇三件である。犯罪種別を見るに最も多いのは矢張り窃盗で十四年七三三件、檢擧七〇九件、十五年度六百八件、檢擧五九九件、昭和二年一五七件、檢擧一一六件で次に多いのは詐欺で十四年度二二〇件、檢擧二六五件、十五年度二二〇件、檢擧二五二件、昭和二年一〇九件、檢擧一一四件である、其他の犯罪數は

	十四年	十五年	二年
殺人	四（檢擧五）	五（五）	二（二）
放火	七（七）	四（三）	
強盗	一（一）	七（五）	一（一）
横領	七九（二九）	八二（九五）	三七（三八）
賭博	五一（七二）	五四（六五）	六五（五七）
其他	二五九（二六五）	三四六（三五二）	一四四（五三七）

▲傳染病發生數

平警察署管内に於ける傳染病發生數を見るに（割孤内は死亡數）

	十四年	十五年	二年
赤痢	九（三）	六（二）	四（二）
チブス	一四八（一三）	一四六（一九）	四二（四）
パラチブス	一四（二）	二〇（二）	三（一）
猖紅熱	二	八	三（二）
ヂフテリア	一一九（五）	一一七（二八）	五〇（七）
計	二九三（二三）	二九八（五二）	一〇三（一六）

傳染病で最も多いのは腸チブスで、それは小名濱、江名、豊間磐崎、湯本等海岸地方並に炭礦地方に多いのは毎年同樣である

農事試驗場でイチゴの盛り

昨年より好成績

神谷村農事試驗場分場で唯一の人氣ものとされてゐる草苺は去月二十八日初もぎ以來日を逐ふて赤味を帶び八日頃からは最盛期に入つたので毎日臨時夫、常農夫を督勵して採取してゐるが本年は昨年度より成績が良好で苺畑二反歩から約二百五十貫匁位採取される豫定である、相場は最初の頃一貫匁二圓五十錢位であつたが昨今では一圓五十錢に値下げをなしたので毎日五六十人位のお客あり試驗場では稻田技師、小塙技手以下汗ダクの態で之が應待に努めてゐる、本年の最盛期は來る十五日頃までの豫定であるが、來る十一日午後一時から地方有志を招待し試食會を催ほす筈である。

▲小泉檢事出發

平區裁判所兼平支部檢事から茨城縣下妻町區裁判所兼下妻支部檢事に榮轉した小泉三橘氏は十日午前九時平驛發列車で赴任する筈尚ほ後任窪田德次郎氏は十日午後一時着任の筈である。

▲和田書記榮轉

平區裁判所檢事局監督書記和田傳吉氏は九日附を以て秋田地方裁判所に榮轉した。

鰹の大群を發見

二三日中に豐漁か

縣水産試驗場の磐城丸は七日午後五時頃銚子沖南東八海里の海區で鰹魚の大群に遭遇したが餌つきの不良の爲め百余尾を釣獲したに過ぎなかつた旨八日朝無電で小名濱に通知あつたが一兩日中には大漁の見込みであると

▲酌婦にお灸

内郷村大字宮料理店蔦屋事山岸ブン方抱酌婦渡邊トキエ（十九）は去月二十八日夜住所不定の米窪造酒藏（三四）から五圓を收受し密姪賣をなしたので拘留四日、ブンは媒合容止として四日に處せらる

▲浮浪罪で拘留

長野縣東筑應郡塩尻村生れ米窪造酒藏（三四）は窃盗前科一犯を有する者であるが、一定の住所及び職業なく石城地方を徘徊し無錢飲食をなし平署に捕はれ浮浪罪として拘留三日に處せらる。

心中の數へ歌を聞いて

娼妓上りの妻自殺

夫に秘してゐた事が氣になつて

◆…好間村大字北好間小田炭礦支柱夫脇谷幸三郎内縁の妻岩瀬郡仁井田村字滑川生れ佐久間トミ（二九）は八日午後五時頃自宅で家人の隙を窺ひ縊死を遂げたので平署から林部長出張檢死したが、トミは四十日程前まで仙臺市小田原遊廓よか樓の娼妓をつとめ借金がなくなつたので石城郡に來り娼妓をしてゐた事を秘して幸三郎と夫婦になつたものであるが、幸三郎方には相當の蓄財もあり姑との折合もよく二十一歳の時から苦界に身を沈めてゐたトミとしては漸やく人の世の嬉しさを味はひ得る境遇になつたのであつた。

◆…然し夫が親切にすればする程、トミの胸は、元女郎であつた、而もそれを親切な夫に秘してゐるが、夫に氣附かれたらどうしやうといふ心配に惱まされた。恰度七日の夜である。附近に「一つとせぶし」の流し賣りが來たので夫幸三郎が買ひ求めた處、それは去る四月二十六日平町鎌田町遊廓大豆樓で娼妓文江事木村かね（三六）と馴柴客松崎幸太郎（二二）との心中噺であつた。

◆…心中噺を夫から讀みきかされたトミは今更娼妓をしてゐた身分の過去を顧みそれを夫に秘してゐる事が罪惡のやうな氣がして、翌九日は朝から悶々として生きた心持もしなかつたが、遂に厭世の果て覺悟の縊死を遂げたものであつた。かうした事情は細々と認めた書置によつて始めて夫も知つたわけである……。

十四年間一日の如く

鐘を撞く市川爺さん

◆……城山鐘樓守の話

時の記念日は近づいた平町の誇りとして町民三萬の爲め毎日起きるにつけ寢るにつけ時を知らせにつき出す城山の鐘は大正三年十月に落成式を擧げて足かけ十四年の長い間毎日午前六時、正午、午後六時午後十時の四回に正確な時間を知らして呉れるが、之れを計劃したのは御即位の記念事業として井上消防組頭以下平消防組員によつてされたもので時の貴重なことを町民に普く普及し其觀念を徹底せしめたらよいか町としてそうした事業に定見のなかつた當時消防組員が其先驅をなして之を實現せしめた事は實に偉大なる事業であつた、創始後去る大正十二年三月迄は消防組によつて此鐘樓は維持されて來たのであつたが現在では町が管理してゐる、管理者は變り鐘樓は改築されても其の鐘の響きと共に十四年を暮して來てゐる主はたゞ一人市川長作（六六）爺さんがあるばかりで此のお爺さんに就て勤めの話を聞くと斯うである。

永い間の事ですから何時も正確とは言はれず殊に初めた許りの頃は甚だしい時など寢過したり、慌てたり、一時間も間違つて撞き出し町民のお方からお叱言を頂戴した事もありますがまあどうやら近頃では電話も引けたし正確な時を報ずる事が出來ます、私は明治二十五年四月から平町の消防手となつて今日まで續け夜警などにも出てゐますから大した苦痛とも思はれませんが日短の頃の午前六時と午後十時の時などはまあよく毎日の仕事で此年をして勤まると思はれますよ、なあに撞くのなんか何でもありません、初めの頃は力を余り入れるので肩が拔けそうでしたが馴れて了へば、こつですから……

川柳

書留を開けば親の有りがたさ　同　華山

御利益は知らず御禮に病み上り　同　人

雨になり農夫ゆつくり腰を据へ　同　人

茶の香り朝の氣持ちに落ちつかせ　石川禪六

印刷物は加納活版所

夕涼み香りを殘して乙女去り　同　人

孫一人出來て笑ひの家となり　同　人

豆腐屋のラッパ西陽を突き拔ける

出前持ち犬の方でも狎れて來る

色街の三味の更けゆくみつ豆屋

縫ふ事をやめて西陽へ目を休め　東京　物井風柳

野崎才助氏 狹心症で逝く

組合葬に決せん

小名濱町有志野崎才助氏は本年三月頃から狹心症を病み專ら靜養中であつたが九日午前六時遂に逝去した。葬儀は十二日午後二時自宅出棺淨光院に於て佛式により營む筈であるが、同氏は明治四十四年に小名濱漁業組合役員となり大正八年以來は組合長を勤め漁業界に貢献する事頗る多かつたの　組合では組合葬にしやうと協議中である、同氏は縣下第一の漁業家で鰹船二隻打瀬船三隻の外各種漁船を有し漁夫實に二百名を有してゐた。氏は漁業組合長の外大正十年以降は町會議員に擧げられ小名濱商港問題、平小鐵道問題等に盡力した功枚擧に遑なく又大正八年には小名濱水産會社を起し其後磐城海岸軌道、磐城水産工業各會社の監査役を勤めてゐた

兩立しない 水道と發電所

（上）　許可反對同盟會

一、大瀧江筋は獨り平町の水道水源たるのみならず磐城炭礦二萬の勞働者の水道水源であります、また湯本町でも水道水源を大瀧江筋に求めつゝあるのであります。

一、大瀧發電所が設立されゝば大瀧江筋に於けるこれ等の水道水源は水量、水質に於て甚大なる脅威を受けるのであります。

一、大瀧の地形を案ずるに、天は平町、內郷村、湯本町の水道水源地として特に大瀧を造つて置かれたのではあるまいかと思はるゝのであります。

一、僅かに千キロ許りの電力を得る爲にこれらの水道水源を犧牲にする事は平町のみならずその地方八士の大なる損失であります。

一、將來平町の人口が增加して增水計畫をせねばならぬ場合になつても現在の大瀧江筋に何等の改修を加へずして增水され得るのであります、大瀧江筋に大改修を加へなければ增水されぬから發電所水槽から分水供給さるゝ方が得策だと云ふ議論は當りません。

一、好間川の水を水道水源として他に引用するには既得權者たる好間堰普通水利組合の承諾を經て然る後その筋の許可を得なければなりません、電氣會社は榊小屋に於て好間川本流より取水して好間字寺入に於てそのまゝ再び好間川本流に放流せねばならぬので半個の水たりとも消費する事は許されてないのであります、發電所の水槽から分水供給されゝば望むがまゝに水を供給さるゝ樣に思はゞ大なる誤解であります。

一、大瀧江筋は不完全なる水路だと宣傳さるゝ向もありますが同江筋は慶長年間大館城主の開鑿にかゝり水道開始以來何等の不都合のなかつた事は明らかな事實でありますから宣傳に迷はされてはなりません（つゞく）

東京株式清算取引高低表

（東株ハ常中先限他株ハ先限ノミ）

◎第一部

付	止
九	―

◎第二部

銘柄	値
白煉	二七四
日セ	三三〇
淺野	―
同新	―
磐セ	―
久原	―
同新	―
日石	―

◎第三部

銘柄	値
自動	三四三
同新	―
富紙	―
同新	―
樺太	―
日魯	―
同新	―
日粉	―

短期前場

	寄付	高値	安値	引値
鹽水	四九六	五〇五	四九六	五〇三
久原	五二三	五二七	五二三	五二五
新淺	三六一	三七四	三六一	三七〇
日石	五五七	五六三	五五七	五五七
新鐘	一二三八	一二四九	一二三六	一二四〇
新東	一三六二	一三七六	一三六二	一三七四

東京商品取引

（六月九日前場）

◎期米

	六限	七限	八限
一節	三七二〇	三七二九	三七二九
二節	三七一八	三七二一	三七二九
三節	三七一五	三七二二	三七二九
四節	三七一八	三七二三	三七二一
五節	三七一九	三七二一	三七二八
六節	三七一九	三七二一	三七二一
七節	三七一八	三七二六	三七二二
八節	三七一八	三七二三	三七二一

◎綿糸

	一節	二節	三節	四節
六限	二三二八	二三二九	二三二一	二三二二
七限	二三七〇	二三六〇	二三五四	二三五四
八限	二三七五	二三七六	二三七七	二三七六
九限	二三八九	二三九〇	二三九九	二三九〇
十限	二四一〇	二四〇五	二四〇六	二三九六
十一限	二四〇四	二四〇三	二四〇八	二三九九
十二限	二四〇六	二四一〇	二四〇五	二四一一

◎生糸

	一節	二節	三節
六限	一四六三	一四六三	―
七限	一四七九	一四八一	―
八限	一四七六	一四七九	―
九限	一四七九	一四七九	―
十限	一四八一	一四八〇	―

大瀧問題に關して

投書歡迎

（二）　一町民投

四日の演說會の感想を申上ましたから五日の同盟會のも述べさせて頂きます。

同盟會各辯士諸君の御演說は水槽分水には反對の御意見の樣でしたが大体に意あつて言足らずとでも申上ませうか、何となく物足らない樣に拜聽いたしました、尤も是も平町百年の重大問題であるだけさう容易に片つけらるべきものでもありますまい、今後の對策に就ても萬遺算なき町民の期待に反むかぬ樣最も愼重に御考慮中と御察しいたしまして傍聽者に不得要領に感じさせた事も亦止むを得なかつた事なのでせう。

四日の演說にも野次は少しは出た樣でしたが五日には夫れが大分あつた樣でした、野次る御本人はさうでなくとも謹聽して居る多數の者には大迷惑です、申すまでもなく兩日の辯士諸君には各意見の相違はあつても愛町の念は同一でせう、吾々町民は甲乙なく敬意を表して謹聽すべきものでありますまいか、大いに反省せられん事を望みます。

前日此紙上で柴田君に失禮した事を御詫いたしまして更めて敬意を表します。

そこで此問題に就て私は今こんな事に考へて居るか、國家經濟上電氣も起させたい、水道にも障りなくしたいとは誰しも望む所ですが夫等に就ての智識はありません、只私案として兩方よくするには平町の水道取り入れ口の幾分なりとも上流に放水する事を條件として發電所を設置する事、夫れが爲め電力の五六百キロ減は平町及附近町村民の保健衛生其他の償として國家安寧の上からも寧ろ至廉なものではないでせうか。（完）

勇往直進豪毅堂々
三大映畫提供
説明　石井、佐藤、谷、小林、南　石川、淺田、玉江、安部
伴奏　佐藤

番外喜劇　千金の夢　全二卷

弘道館四段特別角力選手　淺岡信夫猛演
學生角力大活劇　勝利の前に　全六卷
岡田嘉子、辻紫子助演

河部五郎主演、大佛次郎原作
第二回　照る日曇る日　八卷
大河内傳次郎、櫻木梅子、川上彌生、澤村春子助演

水産講習所出身スポーツ
廣瀬恒美主演
海洋大活劇　海國男兒　全八卷
砂田駒子、高木永二助演

六月九日ヨリ
平館

松ケ岡公園は　春葉に變る
綠滴るばかりの公園池畔
初夏の情景　をた慕ひあれ
松ケ岡公園池畔　電話二二六番

驚いた!!!
こうまで安いとは
―加納活版所の印刷物!!

「ヤア君か」
「ヤア君か」
見違へたよ、
お互に余り
立派な洋服に
なつたので…

平町停車場通り
正札堂

學生服大特價
霜降小倉小學用
六七才位　一圓一〇
八九才位　一・二〇
十才位　一・三〇
十一二才位　一・四〇
十三四才位　一・五〇
中學用　二圓二十錢ヨリ各種
なかや洋服店
平町二丁目（電二〇三）

古來よりの靈藥
眞正の六神丸として好評偉大
支那六神丸　定價 一圓・二圓・五圓
復方チアスターゼ錠
あらゆる胃散にて癒ざる人々に直ちに服用を勸む
大阪賣店
山野邊藥局
平町五丁目角

◎簡易の金融―誠意と堅實　◎趣味の貯蓄―共存と共榮
△絶へず會員を募ります　△何時でも御申込下さい
大藏省免許
磐城無盡商會
本店植田町本丁　支店平町中丁

健腦、強精、美血　新藥「神活」
進んで頭腦明晰、元氣旺盛、精力絶倫を望む人は「神活」に依つて滿足せらるべし
本舖　株式會社松田博愛堂
代理店　平町二丁目　大平屋藥店　電話六四二番
藥價壹圓、貳圓、參圓、五圓